万博開催中の本市管理道路の交通状況 〜会期前半(4/13〜7/13)〜

令和7年7月31日

万博会場周辺の状況

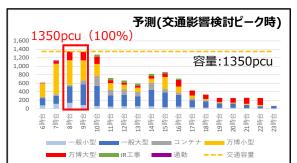
万博会場周辺の道路交通状況【会期前半(4/13~7/13)の3カ月間】

モニタリング結果

- 万博開幕後、万博会場周辺の主要ポイントにおいて、AIカメラ、トラフィックカウンターにより、毎日の交通量を把握し、分析を実施
- <u>交通影響検討で実施した予測と実績の傾向は一致</u>しており、<u>交通量のピークは、同じ箇所及び時間帯で発</u> 生している
- 会期前半においては、万博会場周辺の<u>道路交通は交通容量に対し余裕があり、混雑は発生していない</u>
 - ◆来場方向のピーク値 高速ルート(湾岸舞洲出口 天保山方面から)の9時台が容量比80%(6/5(木))
 - ◆退場方向のピーク値 南ルート(咲洲トンネル西交差点)の15時台が容量比85%(6/23(月))

◆来場方向:高速ルート(湾岸舞洲出口天保山方面から)







1081pcu (80%)

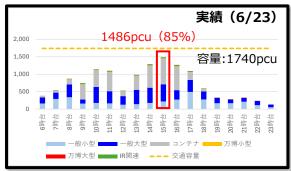
◆退場方向:南ルート(咲洲トンネル西交差点)





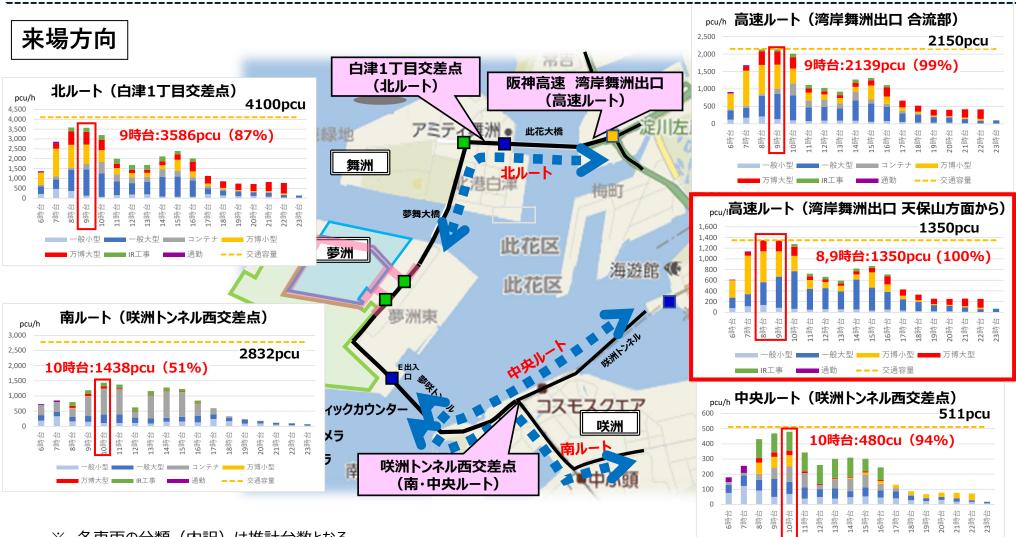
実績(6/5)

容量:1350pcu



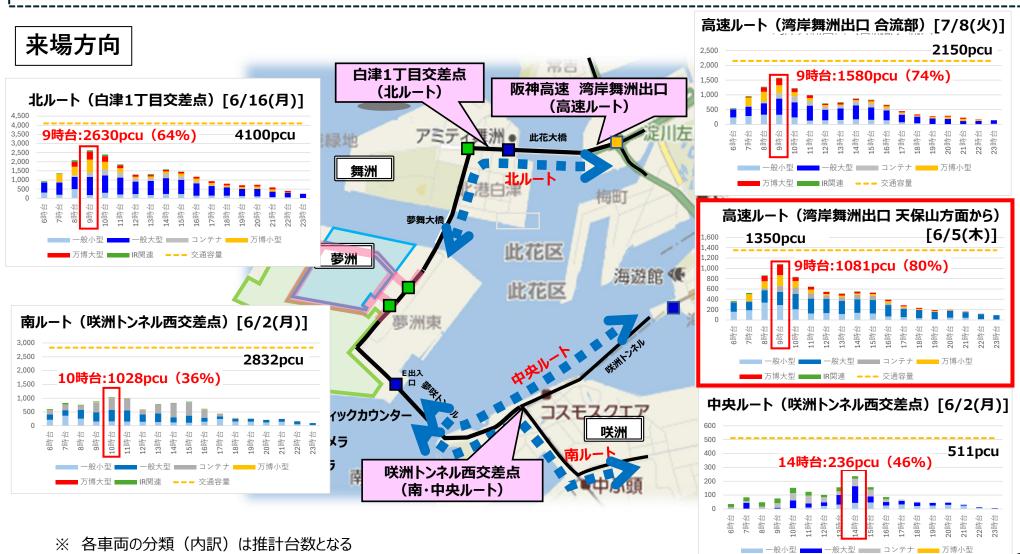
来場方向の交通影響検討ピーク時の予測結果

- ◆予測(当初の交通影響検討の結果)
 - ・来場方向で最も交通負荷がかかる箇所は、高速ルート(湾岸舞洲出口 天保山方面から)
 - ・ピークの時間帯は、8時台と9時台において、交通容量に対して100%に達する予測結果



来場方向の実績 【会期前半(4/13~7/13)】

- ◆実績(会期前半(4/13~7/13)のモニタリング・分析結果)
 - ・来場方向で最も交通負荷がかかる箇所は、高速ルート(湾岸舞洲出口 天保山方面から)
 - ・ピークの時間帯は、9時台で交通容量に対して80%との実績



退場方向の交通影響検討ピーク時の予測結果

- ◆予測(当初の交通影響検討の結果)
 - ・退場方向で最も交通負荷がかかる箇所は、南ルート(咲洲トンネル西交差点)
 - ・ピークの時間帯は、14時台で交通容量に対して98%という予測結果



退場方向の実績 【会期前半(4/13~7/13)】

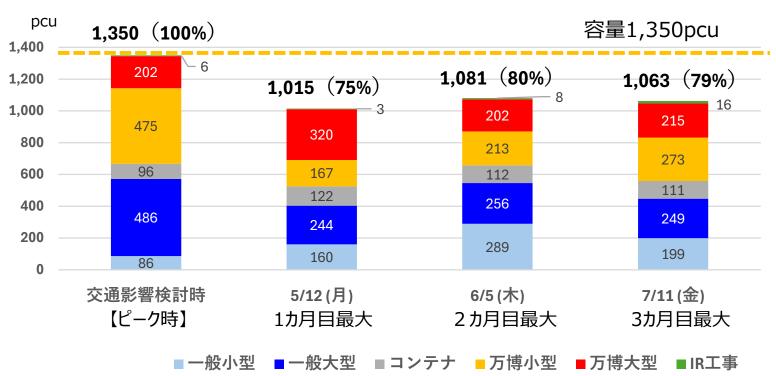
- ◆実績(会期前半(4/13~7/13)のモニタリング・分析結果)
 - ・退場方向で最も交通負荷がかかる箇所は、南ルート(咲洲トンネル西交差点)
 - ・ピークの時間帯は、15時台で交通容量に対して85%との実績
 - ・万博車両が多い北ルートについては、交通容量に対して余裕がある



来場方向の道路交通状況のまとめ 【会期前半(4/13~7/13)】

- 万博への来場方向については、高速ルート(湾岸舞洲出口 天保山方面から)の 9 時台の交通量が多いが、交通容量に対し余裕があり(20%程度)、大きな混雑は発生していない。
- 万博大型車両は、GW明けに少し増加したが、その後ほぼ横ばい
- 万博来場者数は増加傾向であり、万博小型車両(P&R駐車場利用など)も増加傾向である。

■高速ルート(湾岸舞洲出口 天保山方面から)の9時台の状況

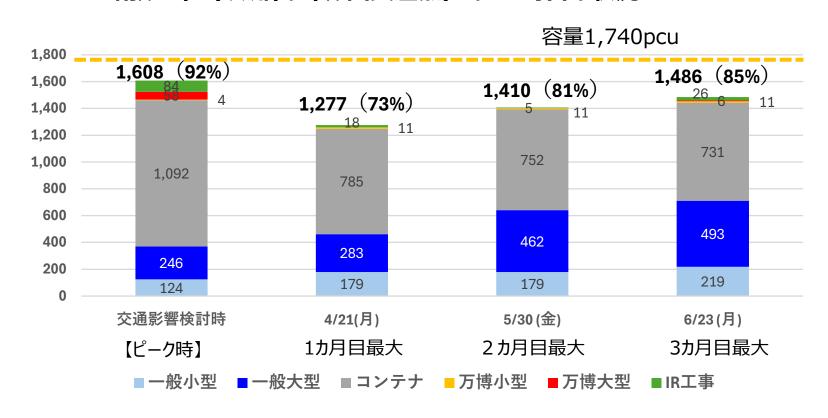


※車両分類の台数は推計台数である。

退場方向の道路交通状況のまとめ 【会期前半(4/13~7/13)】

- 万博から退場方向については、南ルート(咲洲トンネル西交差点)の15時台の交通量が多いが、 交通容量には余裕があり(15%程度)、大きな混雑は発生していない。
- なお、退場方向は万博車両は少なく、物流車両が大半をしめている。

■南ルート(咲洲トンネル西交差点)の15時台の状況



※車両分類の台数は推計台数である。

会期後半に向けた取り組み

今後の留意事項

- 万博の会期後半は、より一層来場者の増加が想定
- 万博小型車両 (P&R駐車場の利用など) も開幕当初より増加傾向
- 9月からは団体バスの増加も想定



会期後半に向けた取り組み

- 会期前半(4/13~7/13)は、道路交通に余裕があり混雑が発生しなかったが、引き続きモニタリング・分析により、道路交通の状況を注視
- 今後も博覧会協会などが実施する道路交通に関連する取り組み※について、しっかりと連携し円滑な万博来場者輸送に努めるとともに、引き続き、関係局が連携して、追加的対策の準備・調整を行う
 - ※当初想定より、Osaka Metro中央線の利用率が多くなっていることから、これまでP&R駐車場の利便性向上やシャトルバスの新路線の開設など、西ゲートの利用促進策が図られてきている

来場者の円滑な輸送を確保するとともに、市民生活や経済活動への影響を最小限に留めることを念頭に、日々の交通状況のモニタリングを行いながら、機動的に万博開催期間中の追加的対策を実施

◆ 追加的対策A:各事業の工夫により、<u>交通量の状況に関わらず、予め期間を決めて実施する対策</u>

◆ **追加的対策B**:日々の交通状況のモニタリングを行いながら、<u>交通容量を超過する見込みとなった場合に、</u>

機動的に実施する対策

※追加的対策のメニュー及び内容については、万博開幕以降も効果的な手法を継続的にブラッシュアップ

<追加的対策の手法>

1)追加的対策A

対象車両	対策メニュー	内容	効果	実施期間(案)
IR工事車両	休工日の追加	万博来場者が特に多く見込まれる期間について、IR関連工事の休工を増やすなど 今後調整	IR工事車両台数を 削減	開幕・GW・お盆・閉幕付近
一般交通	舞洲工場の搬入抑制	ごみ収集車両に対して、混雑時間帯に他の工場に搬入するなど、通行台数を抑制	12~36台/hの削減	全期間

2) 追加的対策B

対象	対策メニュー	内容	効果
物流車両	ターミナルゲートの時間 延長		昼休み前後等の時間帯の 来場台数を平準化
	空コンテナシフト	空コンテナの返却場所を夢洲から咲洲等に一部変更	150台/日削減を想定
ITR工宝亩市	通行ルート・時間帯の 変更	容量を超過する見込みのルート・時間帯において、IR工事車両の通行ルート・時間帯 を変更	IR工事車両台数を 削減
一般交通	働きかけTDM [※]	・更なる協力のお願いについてTDMパートナー企業等にメルマガ配信や情報提供 ・追加的な情報を府市のHP等に掲載	抑制

※働きかけTDMとしては、一般車両への対策として、開催中、全期間にわたって、TDMパートナー企業等に対し、夢洲周辺や、 阪神高速道路の混雑予測情報等を情報提供。

(参考) 道路の異常時(陥没・倒木・交通事故による道路施設の損傷などによる通行障害)への迅速な対応を実施(R7.3.2 1 落札予定) 万博会場周辺及び周辺以外における事故発生時の連絡体制を確立

万博会場周辺以外の状況

万博会場周辺以外の道路交通状況 【会期前半(4/13~7/13)】

- 万博会場への主要アクセスルート(高速道路含まず)や主要アクセスルートを補完するルートにおいて、 JARTICから渋滞情報データを入手し、万博開催前(1年前の同時期)のデータと比較。
- 万博開幕後3ヵ月間は、開幕前と比べ、大きな渋滞は発生していない。

万博会場周辺以外の交通状況の確認箇所

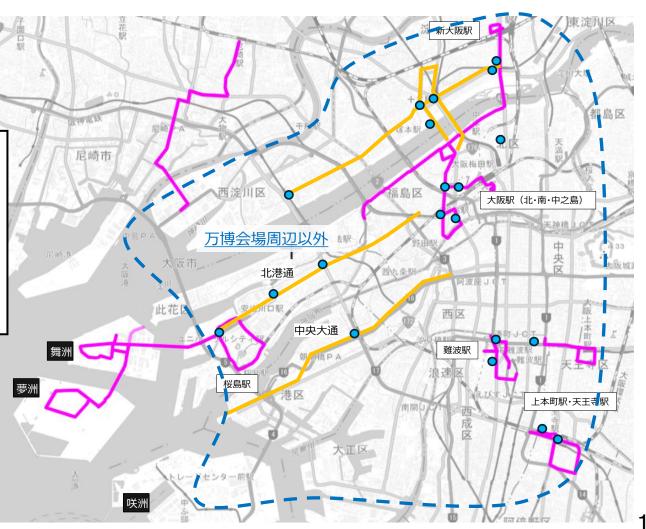
凡例

万博会場への主要アクセスルート (高速道路含まず)

主要アクセスルートを補完するルート

---- 万博会場周辺以外

JARTICデータ入手箇所 (モニタリング箇所)



来場者輸送情報センターとの連携

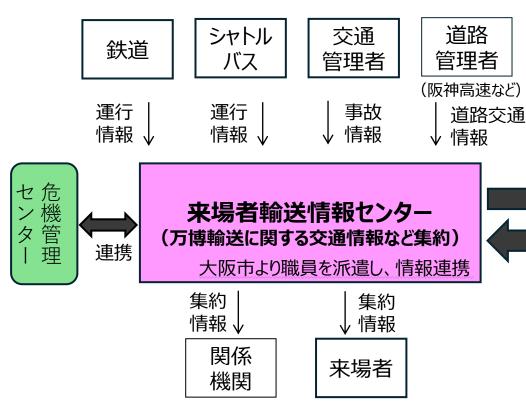
来場者輸送情報センターとの連携

<万博開幕後の取り組み>

- 来場者輸送情報センター(以下、センターという)とは、駐車場の予約台数などの万博交通情報と、交通量の予測データなどの道路交通情報について、日々相互に共有
- 本市職員を毎日センターに派遣し、本市が設置したライブカメラの映像やセンターに集約されるアクセスルートの道路交通情報について相互に共有
- シャトルバスのルートや時間帯、便数の変更などに対応し、情報をアップデート

来場者輸送情報センターでは、万博輸送に関する公共交通等の運行情報等を集約し、交通事業者、関係機関等及び来場者に情報提供

【大阪市との具体的な連携イメージ】※第2回会議資料より抜粋



万博交通情報

- ・シャトルバス運行予定台数
- ·P&R駐車場予約台数
- 道路交通状況など

大阪市

(交通量分析·予測·追加的対策)

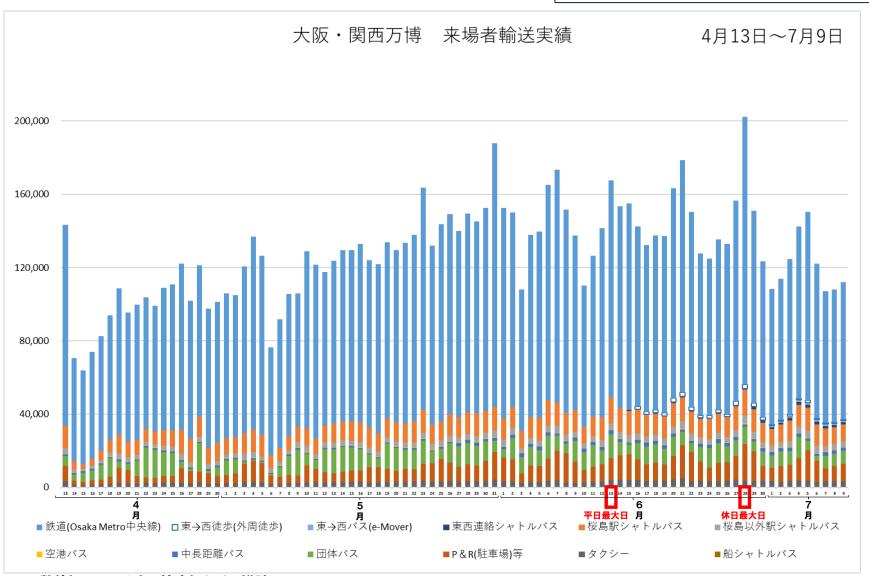
道路交通情報

- ・ライブカメラ映像
- ・モニタリングデータ
- 予測データ
- •追加的対策実施

参考資料

万博来場者の実績(4/13~7/9) 参考

出典: R7年7月17日 第2回 輸送対策部会の資料より



- ※数値については全て協会における推計
- ※速報版であり、数値は今後変更する可能性がある

万博P&R駐車場 実績値(全体:4/13~7/9) 参考

